



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月3日

上場会社名 武蔵精密工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7220 URL http://www.musashi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 浩史
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高橋 森一 TEL 0532-25-8111
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月3日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	64,469	14.0	3,989	8.6	4,461	14.2	3,368	57.9
30年3月期第1四半期	56,551	51.1	3,675	58.0	3,905	559.3	2,133	305.7

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 Δ924百万円 (-%) 30年3月期第1四半期 1,011百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	107.92	98.68
30年3月期第1四半期	68.40	62.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	242,760	99,731	34.1	2,654.96
30年3月期	247,778	100,350	33.5	2,660.82

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 82,869百万円 30年3月期 83,055百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	27.00	-	39.00	66.00
31年3月期	-	-	-	-	-
31年3月期(予想)	-	42.00	-	42.00	84.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	249,000	4.7	17,000	7.8	16,200	1.7	10,400	0.5	333.18

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	31,221,100株	30年3月期	31,221,100株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	8,014株	30年3月期	6,787株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	31,213,797株	30年3月期1Q	31,194,197株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2018年4月1日～6月30日）における連結売上高は、欧州での円安の影響、全地域での売上増加により、64,469百万円（前年同期比14.0%増）と増収になりました。

収益面では、連結営業利益は、材料コストの上昇はあったものの、売上の増加や生産性向上により3,989百万円（同8.6%増）となりました。次に、連結経常利益は為替の影響などにより、4,461百万円（同14.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,368百万円（同57.9%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間に、一昨年買収したHAYグループ各社の社名を「Musashi」を付した社名に変更しました。これにより、統合の加速と欧州でのムサシブランドの浸透を図り、グループとしての価値向上に繋げてまいります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より新たな地域区分によるオペレーションを開始しているため、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（日本）

売上高は7,666百万円（前年同期比14.8%増）と増収、コスト低減効果も加わり、セグメント利益は596百万円（同33.0%増）となりました。

（米州）

受注の回復もあり売上高は13,679百万円（同9.2%増）と増収、セグメント利益はコスト削減効果などにより518百万円（同222.0%増）となりました。

（アジア）

各社の増収により、売上高は16,321百万円（同7.3%増）、セグメント利益は1,611百万円（同0.8%増）となりました。

（中国）

各社の増収により、売上高は6,056百万円（同43.9%増）、セグメント利益は898百万円（同13.8%増）となりました。

（欧州）

原材料価格の上昇に伴った販売価格アップと円安の影響で売上高は20,745百万円（同15.7%増）と増収、原材料価格のコストへの影響などにより、セグメント利益は347百万円（同41.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前期末に比べて5,018百万円減少し、242,760百万円となりました。

流動資産は、前期末に比べて1,097百万円増加し、104,776百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加によるものです。

固定資産は、前期末に比べて6,116百万円減少し、137,983百万円となりました。主な要因は、減価償却による固定資産の減少によるものです。

負債は、前期末に比べて4,399百万円減少し、143,028百万円となりました。主な要因は、借入金の減少によるものです。

非支配株主持分を含めた純資産は、前期末に比べて619百万円減少し、99,731百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年4月27日に公表いたしました平成31年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,106	28,390
受取手形及び売掛金	34,319	34,504
商品及び製品	10,117	9,723
仕掛品	5,513	6,064
原材料及び貯蔵品	19,860	19,179
その他	7,800	6,948
貸倒引当金	△39	△34
流動資産合計	103,678	104,776
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,945	42,503
減価償却累計額	△19,210	△19,369
減損損失累計額	△895	△751
建物及び構築物(純額)	22,839	22,381
機械装置及び運搬具	205,929	202,160
減価償却累計額	△140,146	△139,788
減損損失累計額	△1,130	△982
機械装置及び運搬具(純額)	64,652	61,390
工具、器具及び備品	11,366	11,287
減価償却累計額	△7,265	△7,332
減損損失累計額	△47	△40
工具、器具及び備品(純額)	4,053	3,914
土地	6,655	6,554
建設仮勘定	5,514	6,517
有形固定資産合計	103,716	100,759
無形固定資産		
のれん	9,086	8,625
顧客関連資産	14,123	13,324
ソフトウェア	1,648	1,549
ソフトウェア仮勘定	13	13
その他	3,133	2,719
無形固定資産合計	28,005	26,231
投資その他の資産		
投資有価証券	6,251	6,043
出資金	81	120
長期貸付金	61	66
繰延税金資産	2,504	2,326
その他	3,523	2,481
貸倒引当金	△43	△43
投資その他の資産合計	12,378	10,992
固定資産合計	144,099	137,983
資産合計	247,778	242,760

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,347	19,530
短期借入金	10,779	10,354
1年内返済予定の長期借入金	12,644	14,165
1年内償還予定の社債	10,006	10,004
未払金	3,310	2,507
未払費用	6,164	6,681
未払法人税等	1,317	1,443
賞与引当金	2,213	1,620
役員賞与引当金	52	11
製品補償引当金	35	35
その他	3,611	5,193
流動負債合計	71,484	71,548
固定負債		
長期借入金	63,362	59,747
繰延税金負債	6,541	5,541
退職給付に係る負債	4,641	4,555
その他	1,399	1,636
固定負債合計	75,944	71,480
負債合計	147,428	143,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,006	3,006
資本剰余金	1,985	1,985
利益剰余金	80,440	84,113
自己株式	△8	△8
株主資本合計	85,423	89,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,706	2,334
為替換算調整勘定	△5,270	△8,758
退職給付に係る調整累計額	195	197
その他の包括利益累計額合計	△2,368	△6,227
非支配株主持分	17,294	16,861
純資産合計	100,350	99,731
負債純資産合計	247,778	242,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	56,551	64,469
売上原価	47,717	54,135
売上総利益	8,833	10,334
販売費及び一般管理費	5,158	6,344
営業利益	3,675	3,989
営業外収益		
受取利息	92	141
受取配当金	102	269
為替差益	148	241
助成金収入	97	2
その他	119	112
営業外収益合計	560	767
営業外費用		
支払利息	283	219
その他	46	76
営業外費用合計	329	295
経常利益	3,905	4,461
特別利益		
固定資産売却益	6	2
特別利益合計	6	2
特別損失		
固定資産売却損	19	13
固定資産除却損	47	8
減損損失	—	208
特別損失合計	66	229
税金等調整前四半期純利益	3,845	4,234
法人税等	1,525	679
四半期純利益	2,320	3,555
非支配株主に帰属する四半期純利益	186	186
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,133	3,368

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	2,320	3,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△240	△371
繰延ヘッジ損益	8	—
為替換算調整勘定	△1,129	△4,109
退職給付に係る調整額	51	1
その他の包括利益合計	△1,309	△4,479
四半期包括利益	1,011	△924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,129	△490
非支配株主に係る四半期包括利益	△118	△434

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が12月31日である連結子会社ムサシドブラジル・リミターダ、ムサシダアマゾニア・リミターダ、武蔵精密自動車部品(中山)有限公司、武蔵精密自動車部品(南通)有限公司、武蔵精密企業投資(中山)有限公司及びムサシオートパーツメキシコ・エス・エー・デ・シー・ブイは、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、より適時適切な情報に基づき、財務情報としての有用性を高めるため、当第1四半期連結会計期間より連結決算日に仮決算を実施して連結する方法へ変更しております。

また、決算日が12月31日である連結子会社であるムサシオートパーツカンパニー・リミテッドについても、より適時適切な情報に基づき、財務情報としての有用性を高めるため、当第1四半期連結会計期間より決算日を12月31日から3月31日へ変更しております。

これに伴い、当該連結子会社の平成30年1月1日から平成30年3月31日までの損益については、それぞれ利益剰余金の増減として調整しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用について、当社及び国内連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

米国を除く在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号(顧客との契約から生じる収益)を適用しております。当該会計基準の適用が連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	アジア	中国	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	6,677	12,526	15,209	4,209	17,929	56,551	—	56,551
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4,945	72	422	719	75	6,235	△6,235	—
計	11,623	12,598	15,631	4,928	18,005	62,786	△6,235	56,551
セグメント利益	448	160	1,598	789	596	3,594	80	3,675

(注) 1. セグメント利益の調整額80百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	アジア	中国	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	7,666	13,679	16,321	6,056	20,745	64,469	—	64,469
セグメント間の内部売 上高又は振替高	5,378	36	414	1,308	158	7,296	△7,296	—
計	13,045	13,715	16,736	7,364	20,904	71,765	△7,296	64,469
セグメント利益	596	518	1,611	898	347	3,971	18	3,989

(注) 1. セグメント利益の調整額18百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、地域区分の見直しを行い、各地域でオペレーション機能を担う体制に変更しております。それに伴い、報告セグメントを従来の「日本」、「北米」、「欧州」、「アジア」及び「南米」の5区分から、「日本」、「米州」、「アジア」、「中国」及び「欧州」の5区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「欧州」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において、208百万円であります。